

令和7年度 学校経営計画



令和7年4月4日

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

1 学校経営計画策定の根拠となる法令・理念

教育基本法 <教育の目的>

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

学校教育法 <小学校 教育の目的>

小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。

かながわの教育ビジョン <基本理念>

未来を拓く・創る・生きる 人間力あふれる かながわの人づくり
〔思いやる力〕〔たくましく生きる力〕〔社会とかかわる力〕

茅ヶ崎市公立学校教育目標

- 心もからだもすこやかな人になる。
- ゆたかで高い知性と品位をもった人になる。
- はたらく喜びを持ちすすんで社会の発展に役立つ人になる。
- 心正しく明るい社会をきずく人になる。
- 郷土を愛しその発展につとめる人になる。

茅ヶ崎市教育基本計画 <基本理念>

学びあい 育ちあい 支えあう 茅ヶ崎の教育を創造する
～豊かな人間性と自律性をはぐくむ～

- <重点施策>
- 地域の教育資源を生かした学校運営
 - 児童に寄り添った教育環境の充実
 - 教職員の教育活動への支援
 - 学びと交流を通じた地域の教育力の向上
 - 郷土の自然や歴史・文化を学び、ふるさと意識を醸成する教育活動の展開
 - 教育に関する基礎研究の推進
 - 教育施設の再整備
 - 中学校給食の実現

緑が浜小学校教育理念

『人は人によりてのみ、人になる』

緑が浜小学校創学精神

人として子どもたちと教職員と親が喜びも苦しみも分かち合える学校

2 学校教育目標

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ子

3 学校経営スローガン

共に学び、助け合い、磨き合う

学校経営スローガンへの想い

「子どもたちが、明日もまた来たいと思える学校」

「教職員が、自分は必要とされている思える学校」

「保護者が安心して子どもを通わせられる」

4 学校経営方針

- (1) 認めあい、支えあい、高めあう関係を構築するために、支持的風土を大切にした学校づくりを推進する。
- (2) 児童理解を深め、一人一人の子どもの自己肯定感を育むとともに、インクルーシブ教育を推進する。
- (3) 子どもたちの「主体的に学ぶ力」を育むための教育活動を推進する。
- (4) 子どもたちの豊かな感性や情緒を養う教育活動の充実を図る。
- (5) 保護者や地域との協働を大切にした学校づくりを推進する。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、未来を拓く力をはぐくむために必要な教育活動を保障し、教育課程の変更や精選、再編成を行う。

5 目指す児童像 <自立・共生・貢献>

- 心のこもったあいさつができる子ども
- 友達と元気よく遊べる子ども
- 人の話をしっかりと聴くことができる子ども
- 自分の考えを人に伝えられる子ども
- 自分で決められる子ども
- 人のために行動できる子ども
- 感謝の気持ちを表せる子ども

ひとりで
みんな
だれかのために

6 目指す教職員像

- 教職員も、「遊・学・選」の理念を大切にし、働き方の改革を目指す。
- 愛情と情熱にあふれ、一人一人の子どもに寄り添える教職員
- 子どもの可能性を引き出せる教職員
- 専門家としての向上心と使命感に満ちた教職員
- 同僚性を大切にし、チームとして対応できる教職員
- 課題に向き合い、最後までやり遂げようとする教職員

7 今年度の重点目標 「創造（つくる）と伝承（つなげる）」

「原点回帰（学校教育目標に立ち返る）」

○本校の特色を活かす

- ①適切な学校規模 →「学年児童に、2人の担任（＋専科）で関わる（大人⇄子ども）」
 - 「全校児童に、全職員で関わる（大人⇄子ども）」
 - 「全校児童が、互いに関わり合う（子ども⇄子ども）」
 - 「教職員同士が、関係性を深める（大人⇄大人）」
 - 「地域や保護者との関わりを深める（大人⇄大人）」
- ②開かれた・広がり・ゆとりのある空間
 - 「オープンスペースを生かした、授業や生活づくりを進める」
- ③豊かな人的環境（T.T.指導・個別支援・積極的な交換授業 等）
 - 「多くの目で子どもを見守る」「多くの手で子どもと関わる」

○授業力の向上

- ・算数科を中心とした教科等の専門性の向上（研究発表会へ向けて！）
- ・校内研究、校内研修の充実 他校や外部の研究会への積極的な参加
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れたわかりやすい授業づくり
- ・子どもたちの実感（「わかった！」「できた！」）が伴う学びの創出
- ・教師の授業づくりの校内全体での底上げ
- ・週案と授業の整合性

○学級・学年経営の充実

- ・学年十の取り組みの充実→積極的な交換授業で多くの目で子どもを見る
- ・学年経営計画の作成と検証
- ・個の特性（多様性）を受け入れることのできるよりよい人間関係の構築
- ・失敗や間違いを受け入れられる支持的集団の形成
- ・子どもたちの主体的な活動の推進
- ・長期欠席児童への丁寧かつ適切な対応

○インクルーシブ教育の推進

- ・個々の教育的ニーズに応じた支援の充実
- ・合理的配慮と基礎的環境整備の充実
- ・発達障害についての理解と対応策の充実

○**児童指導・支援の充実**

- ・教職員による定期的な情報交換、共有（週１回）
- ・報告、連絡、相談、記録の徹底
- ・最悪の事態を想定した初期対応（事実確認の徹底・複数対応）
- ・チーム対応（役割分担・対応方針の明確化）の徹底
- ・関係機関との連携
- ・児童理解についての研修の充実

○**読書指導の推進**

- ・読書の推進→モジュールの導入により毎朝の実施は難しい状況である。読書の推進は開校当初から引き継がれているものであり、重要な役割を担ってきた。工夫してこれからも大切にしていき、**保護者へ発信する。**
- ・読書活動指導協力者の活用

○**地域連携の充実**

- ・P.G.T.との連携
- ・学校支援ボランティアの活用
- ・地域行事への協力（**推進協行事・パパボラ等**）
- ・学校運営協議会との連携

8 信頼される学校づくりに向けた重点事項

○**教職員のより良い人間関係の構築**

- ・教職員自身の人間性の向上
- ・学び続ける教職員集団の形成（**OJT の充実**）
- ・相互信頼に基づいた人間関係の構築

○**安全・安心な教育環境の確保**

- ・防災・防犯体制の整備
- ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応・組織的対応
- ・学校事故の未然防止
- ・事故発生時の迅速かつ適切な対応→「適切な判断を速やかに」
- ・感染症拡大予防のための適切な対応（3密を排除する環境づくり）

○**個人情報の管理**

- ・整理整頓の徹底
- ・各種チェック表の作成
- ・保管する前の再確認（記入内容・未記入、誤記載・枚数 等）
- ・施錠できる場所での保管
- ・不要な情報の整理、廃棄
- ・専用 USB の使用＜「個人情報校外持ち出し許可願」の提出＞
- ・定期的な事故防止委員会の開催

○**適正な成績処理**

- ・説明責任＜妥当性・信頼性＞
- ・チェック体制の再確認→複数の目による複数回の確認の徹底（日常化）